

こども=未来  
～みんなこどもだった。

# 大口町 おとな ワークショップ

NEWS LETTER ①

11月19日の日曜午後、健康文化センター4階ほほえみホールで第1回「大口町おとなワークショップ」を開催しました。無作為抽出によるお誘いに応じてくださった大学生から60代まで、25名の参加がありました。

町役場から開催趣旨を聞いたあと、リラックスした雰囲気づくりのためのアイスブレイク（ときほぐし）。ペアでの自己紹介などを通して「傾聴」についても学びました。次に5グループに分かれ、子どもの頃、大人の接し方や周りの社会に対してうれしかったことや戸惑ったことなどについて話し合いました。

休憩をはさんで後半は、「子どもの権利」について説明を聞きました。続いて「おもちゃのとりあい」の場面を、子どもや大人の役を即興劇で演じる中で得た気づきについて班内で意見交換。最後には全員で一重円のくるま座になって、この日のワークショップを通して気づいたこと、感じたことを分かち合いました。

## 1 オープニング

はじめに、健康福祉部の小島部長より、あいさつがありました。

### 大口町は「こども条例」策定に取り組んでいます



大口町は昨年、町政60周年になり、これを機に町では「こども条例」の策定に取り組んでいます。

昨年度は子どもを対象にアンケートを行ない、今年度は直接意見を伺うため、8月に「こどもワークショップ」を開催しました。

今回の大人ワークショップは町内の19歳以上の方3,000人を無作為抽出し、招待状をお送りしました。定員30人がすぐにいっぱいになり、思った以上に皆様に関心を持っていただいていることをうれしく思うと同時に、大きな責任を感じているところです。

策定する条例には大口町らしさを盛り込めないかと思っています。今日はみなさまから、ヒントや助言がいただければと思います。よろしくお願いします！

## 2 アイスブレイク（ときほぐし）

2人1組になってジャンケンや自己紹介等をする中で、話しやすい雰囲気づくり・関係づくりを行いました。コミュニケーションの基本である「聞き方」についても学びました。



進行役 TAKEZO

相手の目を見て、耳で入れて、心に刻む「傾聴」が大事。相手が「しっかり聴いてくれている」と感じて初めて「傾聴」できています！

## 3 創造的対話「みんなこどもだった。」

合言葉でランダムな5グループに分かれ、子どもの頃、大人の接し方や社会について、「うれしかったこと、希望が持てたこと」や「いやだなと思ったこと、戸惑ったこと」について、各自で「むかシート」に記入したあと、グループ内でシェアしました。



近所の人たちが声をかけてくれた。みんなで育ててくれた！

中学校で坊主にしなければいけないのがすごく嫌だった

先生がわたしの得意なことをすごくほめてくれた！

親がけんかしているのが嫌だった

親同士の会話を聞いて傷ついた

親の判断を押し付けるのではなく、わたしが考えたことを尊重してくれた！

何かにつけ兄弟と比べられることやめてほしかった

## 4 子どもの権利について

子どもの権利についてお話を聞きました。



こども課 平子さん

子どもの権利は子ども達が生まれながらに持っている権利です。大きく分けて4つあります。「生きる権利」(住む場所や食べ物があり、医療を受けられるなどして命が守られる)、「育つ権利」(勉強したり遊んだりして持って生まれた能力を十分に伸ばしながら成長できる)、「守られる権利」(紛争に巻き込まれず、難民になったら保護され、暴力や搾取、有害な労働から守られる)、「参加する権利」(自由に意見を表したり、団体をつくったりできる)の4つです。これらの権利を守るために世界中の国と地域が「子どもの権利条約」という約束事をしていて、大口市もこれを作ろうとしています。

昨年度、子どもたちを対象にアンケート調査をしました。悪口を言われたり仲間外れにされない、安心して生きる、差別されない、愛されて幸せな生活を送る…など 15 の権利の中で大事だと思う権利はどれかを聞きました。この 15 の権利の中で誰も選ばなかったものはありませんでした。大切だと思う権利は、人それぞれ違います。それだけいろんな考えがあります。このワークショップでも、大口市の子どもにやさしいまちづくりのために、是非いろいろなアイデアを聞かせいただければと思います！

## 5 ロールプレイ 「おもちゃのとりあい」

グループごとに、子ども同士のおもちゃの取り合いとその保護者達の対処の仕方についてのシナリオを配役を決めて演じ合ったあと、感じたことを出し合い、よりよいセリフを考えて発表会をしました。

その後、「気づいたこと」や「子どもにやさしいまちづくり」につながりそうなことをシートに記入し、班内で共有しました。

**ふりかえりシートより** ●～してはダメ、～しなければいけないということを子どもに強要せず、子どもの気持ちを考え聞くことが大切●ほんの些細なことでも、子どもにとってつらい、悲しい、怒りなどの心の変化になると思った●子どもが自分の意見を言えるよう第三者も含めて考えサポートすることで、やさしさや子どもの権利を尊重する意識がまち全体に広がるといった●子どもの権利は子どもたちのものという意識を大人が持つことが大切 ほか



## 6 チェックアウト



最後に全員で「輪」になってこのワークショップを通して感じたことを発表しました。



ひとこと  
アンケート  
より

大口市にこのような子どものことをきちんと考える方々がいることを実感できたことが良かったです／たくさんの方が大口市のことを考えて下さっているのだとうれしくなりました／自分の子ども時代を思い出して考えられた。いろんな人がいて楽しかったです／一人ひとり様々な目線から子どもについて考えており、その中でも「子どもの気持ちを考える」「寄り添う」ことが大切だと思いました／初心に戻って子育てしたいと思います。楽しい時間をありがとうございました／皆さんの前向きなエネルギー、吸収して帰りたいです ほか

問合せ NPO 法人まちねっと大口市

TEL・FAX (0587) 22-6642

※月～土(祝日除く) 9:00～17:00 (12:00～13:00 除く)

✉ E-mail machinet@heart.ocn.ne.jp

こども=未来  
～みんなこどもだった。

# 大口町 おとな ワークショップ

NEWS LETTER ②

12月3日の日曜日の午後、健康文化センター1階多目的室で第2回「大口町おとなワークショップ」を開催しました。前回に引き続き、無作為抽出によるご案内に応じてくださった26名の方の参加がありました。

前半は、5つのグループに分かれ、大口町の子どもを取り巻く社会や環境の「ココがいい！」と「ココが気になる！」について意見交換しました。

休憩をはさんで後半は、「アイデアソン※」という手法を使って、「こども条例をきっかけに、大人ができること、できたらいいこと」について少人数で複数回のおしゃべりを通してアイデアを膨らませた後、とっておきのアイデアを1人1枚のシートに表現して投票。たくさんの素敵な案の中から、得票数の多かった上位3人から披露していただき、記念品を授与。最後、一人ひとりが2回のワークショップを通して得た気づきと約束をグループ内でシェアし、拍手で終わりました！

## 1 グループワーク 「大口町のこどもを取り巻く環境～ ココがいい！ VS ココが気になる！」

5グループに分かれ、大口町の子どもを取り巻く環境の「■ココがいい！（強み・評価・期待）」と「■ココが気になる！（弱み・課題・不安）」について、付箋にアイデアを書き出し、互いに紹介し合いながら意見交換したあと、グループ内で■と■それぞれ3つずつ、イチオシと思う意見を選んで、全体で発表・共有しました。（★は複数班から大事とあげられた意見）



### ■ココがいい！（強み・評価・期待）

- ★医療費が18歳まで無償
- ★小・中学校がキレイ
- ★広い公園・公園がたくさんある
- ★地域全体で子育てしている・見守り
- ・町のおまつりがたくさんある
- ・子どもが遊べるイベントが多い
- ・児童センターなどが利用しやすい
- ・保育園。子どもも親もみんなが楽しい（手作りおやつ）
- ・自然が豊か（五条川、田畑など）
- ・近所づきあいが多い
- ・子育て支援のサークルがある
- ・病院がたくさんある
- ・海外派遣がある



### ■ココが気になる！（弱み・課題・不安）

- ★学校まで遠い
- ★駅までのアクセスが悪い（高校へのアクセス）
- ★街灯・雑草など整備されていない（危ない）
- ★図書館が小さく蔵書が少ない、開館時間が短い
- ★遊べる公園、大きな遊具が少ない
- ・自由に遊べる公園が少ない
- ・小学校のクラブ数、行事の数や種類など地域に格差
- ・地域のつながりが少ない
- ・子育て支援のお金が足りない

↓いずれも課題に・・・  
**地域差がある！**



## ② アイデアソン「こども条例をきっかけに、大人ができること、できたらいいこと」を提案せよ!

互いに知恵を出し合い、アイデアを競い合う「アイデアソン」の手法で「こども条例をきっかけに、大人ができること、できたらいいこと」のアイデアを考えました。

※Idea (アイデア) と Marathon (マラソン) を組み合わせた造語。



### ひとりブレスト

まず一人ひとり思いつくアイデアを箇条書きで書き出しました。

大口町の強みを伸ばすことや、課題を解決するためにできることは? やりたいこと、得意なこと、求められていること...まずは質より量でブレインストーミングしてみよう!



プレイズファースト (Praise First) でまずは褒め合うと、脳が活性化して案が出やすく!

ファシリテーター  
TAKEZO

### 3人ブレスト (アイデアの雑談)

3人でアイデアを披露し合い、褒めたり突っ込んだりしながらおしゃべり。途中で2回メンバーチェンジし、お互いのアイデアを交換・深め合いました。



### 良案抽出

全員のシートを見て回りながら、魅力的だなと思うアイデアに星印をつけて投票!



### アイデアスケッチ

ひとりずつイチオシのアイデアを1枚のシートに表現。



### アイデアレビュー 星の数が多かった3人から、アイデアの紹介。

**1位 みんな集まれ! 異年齢交流** (29)

高学年の子どもが企画した子ども向けイベントを開催  
異年齢の子どもたちの交流と子ども主体で活動する場を提供 (大人は補助)  
小さい子は大きい子を見て学ぶ。将来は企画役に!

**2位 寺小屋 現代 Ver.**

たつやまの宿題 困っていませんか?  
習字・作文・工作・勉強...  
できる人があつて子ども達に教わって 楽しく Let's try ~

**3位 みんなで 宿題をやろう!!**

夏休み、冬休みに 助けあいの場。  
書道の日、絵の日、ドリルの日  
得意なことを、まとめて教える

## ③ チェックアウト 2回のワークショップを通して得た気づきと約束をグループ内で共有しました!

**気づき・発見...**子育ては一人でやらない。地域みんなで子育てをしてもいい/自分達で自分たちの町について考える人がたくさんいたら、町が元気になると感じました/周りの方の意見を聞くことで、視野が広がりました/子どものためにできることは、身の回りにあふれていることに気づきました/大口町は良い町  
**わたしは...を約束します...**今回で合った人々との縁も大切にして、町のことも考えていく/子どもの話に耳を傾ける/イベントに積極的に参加する/自分にできることをコツコツ実践する/やりたい! という人の応援をしてお手伝いする

### 講評

できそうなものがたくさん! みなさんに協力していただきながら、1つでも多く実現できたらと思います!



健康福祉部小島部長



ファシリテーター  
TAKEZO

上位案以外のワークホースの中にも、実はイノベーションの芽が隠れているかも!

### 問合せ NPO 法人まちなっと大口

TEL・FAX (0587) 22-6642

※月~土 (祝日除く) 9:00~17:00 (12:00~13:00 除く)

☒ E-mail machinet@heart.ocn.ne.jp